

長浜市 下水道ストックマネジメント計画

長浜市下水道課
策定 平成 30 年 3 月

① スtockマネジメント実施の基本方針

【状態監視保全】・・・ 機能発揮上、重要な施設であり、調査により劣化状況の把握が可能である施設を対象とする。

※状態監視保全とは、「施設・設備の劣化状況や動作状況の確認を行い、その状態に応じて対策を行う管理方法」をいう。

【時間計画保全】・・・ 機能発揮上、重要な施設であるが、劣化状況の把握が困難な施設を対象とする。

※時間計画保全とは、「施設・設備の特性に応じて予め定めた周期（目標耐用年数等）により対策を行う管理方法」をいう。

【事後保全】・・・ 機能上、特に重要でない施設を対象とする。

※事後保全とは、「施設・設備の異状の兆候（機能低下等）や故障の発生後に対策を行う管理方法」をいう。

② 施設の管理区分の設定

1) 状態監視保全施設

【管路施設】

施設名称	点検・調査頻度	改築の判断基準	備考
管渠 マンホール（ふたを含む）	点検：伏越し下流部については1年に1度、圧送管吐出先については5年に1度の頻度で点検を実施。 調査：点検で異常が発見された場合に調査を実施	管渠：緊急度Ⅰ及びⅡ マンホールふた：健全度1 マンホール本体：健全度Ⅳ及びⅤ	腐食環境下
管渠 マンホール（ふたを含む）	点検：10年に1度の頻度で点検を実施。 調査：20年に1度、または点検で異常が発見された場合に調査を実施。	管渠：緊急度Ⅰ及びⅡ マンホールふた：健全度1 マンホール本体：健全度Ⅳ及びⅤ	高リスク管（延長約18km）

管渠 マンホール(ふたを含む)	点検:10年に1度の頻度で点検を実施。 調査:20年に1度、または点検で異常が発見された場合に調査を実施。	管渠:緊急度Ⅰ及びⅡ マンホールふた:健全度Ⅰ マンホール本体:健全度Ⅳ及びⅤ	中リスク管(延長約27km)
管渠 マンホール(ふたを含む)	点検:10年に1度の頻度で点検を実施。 調査:点検で異常が発見された場合に調査を実施。	管渠:緊急度Ⅰ及びⅡ マンホールふた:健全度Ⅰ マンホール本体:健全度Ⅳ及びⅤ	低リスク管(延長約43km)

2)時間計画保全

【管路施設】

施設名称	目標耐用年数	備考
マンホールポンプ設備 (電気を含む)	概ね 15 年	

【処理場・ポンプ場施設】 ※貯留施設等を含む

施設名称	目標耐用年数	備考
—	—	

3)主要な施設の管理区分を事後保全とする場合の理由

【管きょ施設】

管きょ …

総延長約 807kmのうち、主要幹線(延長約 88km:高中低リスク管)以外の污水管きょおよび比較的影響の少ない雨水管きょ(延長合計約 719km)については、事後保全施設に分類した。

【污水・雨水ポンプ施設】 …

ポンプ本体

—

【水処理施設】 …

送風機本体もしくは
機械式エアレーション装置

—

【汚泥処理施設】・・・

汚泥脱水機

—

③ 改築実施計画

1) 計画期間

平成 30 年度 ～ 平成 34 年度

2) 個別施設の改築計画

【管路施設】

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)
処理区・排水区 の名称	合流・汚水・ 雨水の別	対象施設	布設 年度	供用 年数	対象延長・箇所 数(m・箇所)	概算 費用 (百万円)	備考
東北部 処理区	汚水	マンホールポン プ設備(電 気を含む)	H14～H18	11～15	43 箇所	430	標準耐用 年数を超 えたもの から更新
合計						430	

④ スtockマネジメントの導入によるコスト削減効果

概ねのコスト削減額	試算の対象期間
約 672 百万円/年	100 年